

2020年3月5日

## 研究に関する情報公開文書

研究課題名： 膜芽腫における治療効果予測因子と予後因子

### 1. 研究の対象

2006年4月～当院で膜芽腫の手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

2023年3月31日までを研究期間として想定しています。

初発膜芽腫は原発性脳腫瘍の一つで、現在日本では、最大限の摘出・術後放射線治療・テモゾロミドによる化学療法が標準治療とされていますが、標準治療を行っても依然予後不良疾患であります。近年、腫瘍摘出腔にカルムスチン脳内留置用剤の留置や分子標的薬であるベバシズマブが承認され、使用されています。

2006年4月以降に施行された膜芽腫に関して後方視野的に臨床像（年齢、性別、KPS、摘出度、治療法、効果、予後など）、画像（CT、MRIなど）と病理所見（腫瘍の遺伝子解析結果も含む）を解析し、予後に関する因子、治療の効果に関連する因子を探索することを目的とします。遺伝子解析結果に関しては「効果的治療法選択のための脳腫瘍の遺伝子解析」に同意されて解析を行ったもののみを使用します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療法、副作用の発生状況、画像（CT、MRI等）、病理所見（遺伝子解析結果も含む）等

### 4. 外部への試料・情報の提供

なし

### 5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 脳神経外科 教授 廣瀬雄一

担当者：

藤田医科大学 脳神経外科 准教授 大場茂生

### 6. 本研究実施に係る利益相反

該当あり 研究者名：藤田医科大学 廣瀬雄一、企業名：エーザイ株式会社)

藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、適切な利益相反マネジメントを受けながら研究を行う。

## 7. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

藤田医科大学 脳神経外科

担当者：大場茂生

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9253